

問1. 今後、医療現場において医師の働き方改革が、地域医療・病院経営・勤務医の健康に対してプラスとなる点及びマイナスとなる点についてご意見をお聞かせください。

勤務医の健康に対して

プラスとなる点

・	従来よりも時間外労働が減ることになるので今までよりも十分な休息がとることができる。
・	適正な労働時間を確保することにより、休息をしっかりとれる。過労を防ぐことができる。
・	勤務間インターバル等の意識が植えつけられ、休息が取れている事はプラスに働いていると思われる。
・	勤務時間が短くなることは望ましく、健康面でも特に精神的な面で改良されると思うが、仕事の絶対量が減らなければどこかに破綻が起きる。
・	勤務総時間が抑制され、勤務医の健康には良い影響がでる。
・	勤務医の健康に対して全体的にはプラスの影響を与えと思う。長時間労働の是正や健康管理の強化は、医師の身体的・精神的健康の改善になるだろう。
・	残業が減ったり、当直が減れば体調には良いと思う。
・	働き方改革の主旨を理解してもらうことは困難であったが、徐々に浸透しつつある。特に完全主治医制からチーム制への変更が徐々に進んでおり、結果的に医師の過剰勤務は減少していると感じている。
・	過剰なストレスや過労を強いられる環境を改善する事により、様々な疾病の予防となる。

マイナスとなる点

・	シフト制を引く場合、医師数が大幅に増えなければ、比較的年齢が高い医師も夜勤シフトに入ることが必要になるのではないかと。シフト勤務下における体調管理（精神的問題も含め）が問題点となる。
・	患者の為に働きたい、医療技術を向上させたい、生活の質を上げたいなどの理由が働き方改革により制限されとなるとマイナスの影響も出るのではないかと。
・	宿日直シフトの組み方の柔軟性が制限され、結果健康にマイナスになることが想定される。
・	一般労働者なみに就業時間が制限されれば健康問題はプラスに働くが、それに伴い賃金が圧縮されるのであれば、結局勤務医はアルバイトを増やすだろう。
・	一方で手術や検査、診察などを時間内に終わらせる努力の結果、業務量は減少し若手医師の教育やモチベーションに少なからず影響が出つつある。
・	一方で働くことを制限されることにストレスを感じる医師も存在することは今後十分考慮されるべきだ。
・	緊急の業務が発生した場合の対応がスムーズにできるのか不安。
・	A水準の病院においては現在も医師のワークライフバランスはとれており影響はない。長時間労働の改善などによる勤務医全般の健康改善にはよいと思うが、勤務医の中でも忙しい医師と余裕のある医師の差が大きくなることが懸念される。
・	時間制限があるので、健康には寄与されるように見えるが自己研鑽と見なされる仕事が結局あるので利益は相殺される。